



## マーケット・レター

## インカム資産としての豪州株の投資魅力とは？

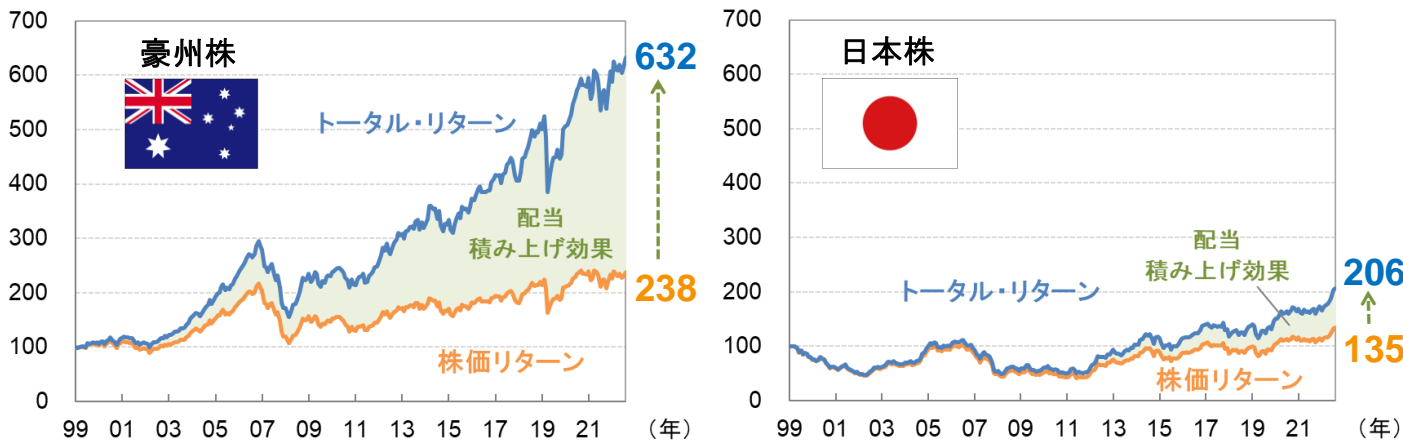
## 【お伝えしたいポイント】

- 豪州株の安定配当(インカム)は、長期的にトータル・リターンの上昇に寄与
- 高配当株としての豪州株の投資魅力
- 豪州企業の収益拡大と利益率の高さが相対的に高い配当の源泉に

## 配当の積み上げ効果により、豪州株は長期で安定したパフォーマンス

- 豪州株はリーマンショックやコロナショックなど様々な危機を乗り越えて、長期的に上昇を続けています。豪州株のトータル・リターンの内訳を見ると、日本株と比較して配当(インカム)の積み上げ効果によるパフォーマンスへの寄与が大きいことが分かります(図1)。

図1：豪州株と日本株の長期リターンの推移



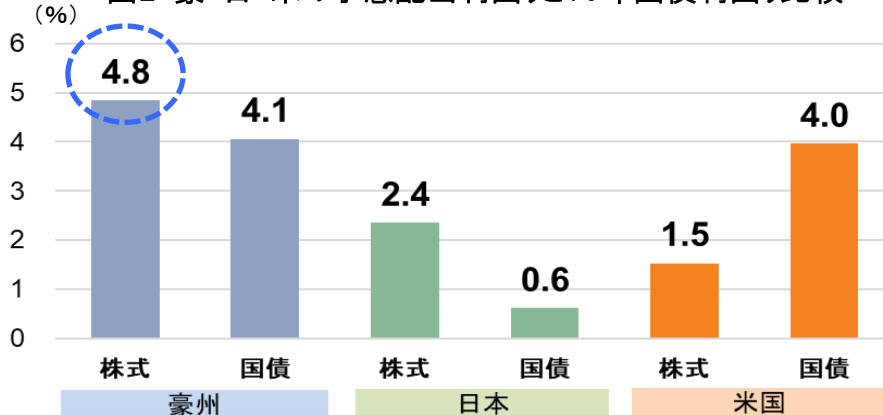
(出所)ブルームバーグ (期間)1999年12月末～2023年7月末

※1999年12月末を100として指数化 ※豪州株：S&amp;P/ASX200指数、日本株：東証株価指数(TOPIX)

## 相対的に高い豪州株の配当利回り

- 豪州株の予想配当利回りは足元で4.8%と高水準にあり、インカム資産としての豪州株の投資魅力は高まっています(図2)。相対的に高い配当収入(インカム)が期待される豪州株は、今後の不透明な市場環境を乗り切るための有望な投資対象であると考えられます。

図2：豪・日・米の予想配当利回りと10年国債利回り比較



(出所)ブルームバーグ ※2023年7月末時点

※豪州株：S&amp;P/ASX200指数、米国株：S&amp;P500指数、日本株：東証株価指数(TOPIX)、豪州・日本・米国国債：各国10年国債

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



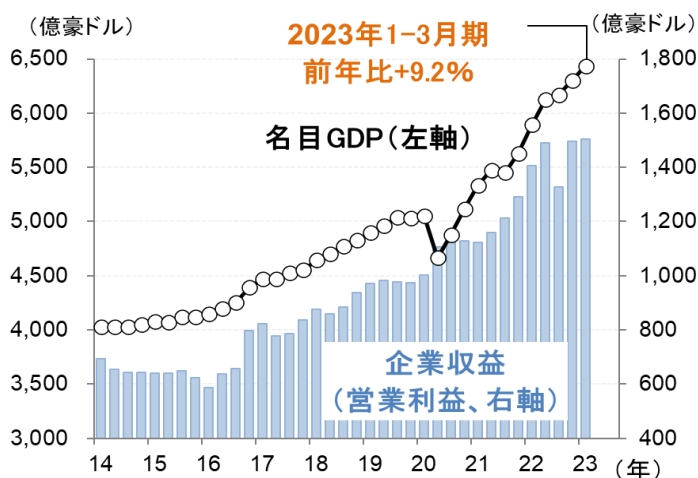
## 豪州株の配当利回りが相対的に高い理由は？



### 1. 安定した経済成長と過去最高益を更新する企業収益

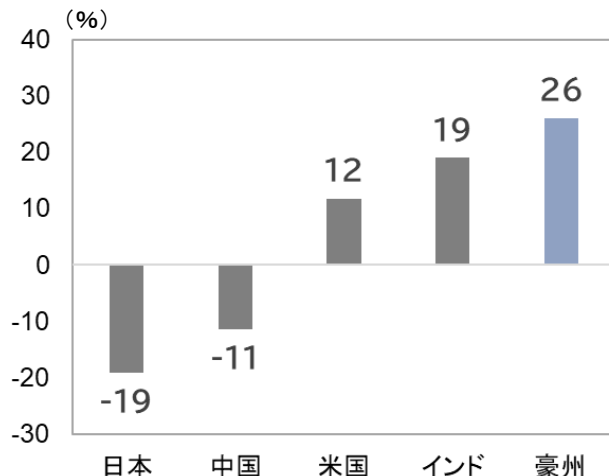
- 配当にとって重要な要素である企業収益に着目します。一般的に企業収益はその国の成長と連動する傾向にあり、豪州では1-3月期の名目GDPは前年比+9.2%と底堅く推移し、豪州企業全体の営業利益は過去最高益を更新しました。こうした国の成長を原動力とした企業収益の拡大が、豪州企業の高い配当の源泉の一つと考えられます(図3)。
- 豪州の安定した経済成長のけん引役として人口増加による個人消費の拡大が挙げられます。個人消費は国を活性化させる重要な経済活動の一つであり、豪州では長期的に人口が増加する見通しにあるため、個人消費の持続的な押し上げによる国の成長が期待されます。(図4)。

図3: 豪州の名目GDPと企業収益の推移



(出所)豪州政府統計局 (期間)2014年1Q~2023年1Q ※季節調整済。

図4: 主要国の予想人口増減率



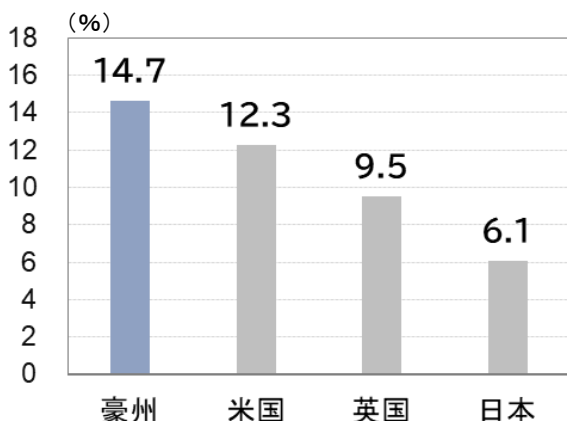
(出所)国際連合(予測値含む) ※2022年と2055年の比較



### 2. 相対的に高い利益率も配当の源泉に



- 豪州企業の利益率は14%台と他の先進国企業と比較して相対的に高い水準です。高い利益率による豊富なキャッシュフローは、豪州株式市場の高い配当利回りに繋がっていると考えられます(図5)。また豪州では市場シェアが高い企業が多く、構造的に利益率が高くなる傾向にあります(図6)。

図5: 主要先進国企業の利益率(過去5年平均)



(出所)ブルームバーグ ※2018年~2022年の平均値 ※利益率はMSCI各国指数の各年末時点における売上高当期純利益率を使用 ※MSCIが算出する指数は、MSCI Inc.の財産であり、その著作権はMSCI Inc.に帰属します。

図6: 豪米の産業別の市場シェア

	豪州 	米国 
スーパーマーケット (売上)	上位3社 75%のシェア	上位3社 33%のシェア
銀行 (預金)	上位4社 73%のシェア	上位4社 35%のシェア

(出所)マーティン・カーリー・オーストラリア ※スーパーマーケットは2022年度の数値(豪州は前年7月~当年6月、米国は当年1月~12月) ※豪州の銀行は2023年6月時点、米国は2022年6月時点